

国のGIGAスクール構想

児童生徒一人一台端末と高速大容量ネットワークを全国一律に整備し、クラウドを活用した学びと校務DXを推進。誰一人取り残さず、個別最適な学びと協働的な学びを実現し、未来社会を生き抜く力を育むことを目指している

令和の日本型学校教育

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実
子どもの特性や学習の進度に応じた学びを保障（指導の個別化・学習の個性化）

「主体的・対話的で深い学び」の進化

多様な価値観を持つ他者との対話を通じて、よりよい解決や新しい価値を創造する力を育成
令和時代の特色を踏まえた教育の推進

デジタル化やグローバル化、人生100年時代を見据え、主体的に学び続ける力を育成

第3期豊川市教育振興基本計画

【基本目標2】 新しい時代に活躍できる確かな学力の育成

- ☆1人1台端末配備による教育の充実
 - ICTの活用による個別最適な学びと協働学習の推進
 - デジタル教科書・教材を活用した授業の実施
 - 情報モラル教育の推進

【基本目標4】 安全安心で持続可能な教育環境づくり

- ☆学校における働き方改革
 - ICT機器・校務支援システムの有効活用

ともに学び 生きる力を育み 未来を拓く 豊川の人づくり

子どもが主体の学び

一人一人に合った学び

学習状況に応じて最適な教材や指導を受けられる授業

つながる学び

意見や考えをすぐに共有し、仲間と協働して学びを深める授業

主体的な学び

子ども自身が学習の方法や進め方を選び、学び続ける力を育む授業

伴走する教師

教師は知識の伝達者から伴走者へと役割を変え、子どもを支える授業

オンラインで学ぶ環境

不登校や長期欠席の児童生徒も端末を活用し、自宅などから参加できる授業

めざす子どもの姿

個別最適な学びと協働的な学びを通して、

多様な価値を創造し、未来を切り拓く子ども

= **自立した学習者**

ICT活用能力の育成

○学校教育活動全般でICTを活用する『使うことによって学ぶ』体制を整え、デジタル学習基盤を生かして学びの質を高める

○情報モラル教育を『デジタル・シティズンシップ』の視点から進め、責任ある情報の活用と健全な社会参加を促す教育を推進する

= リスク回避型のモラル教育からの脱却

デジタル学習基盤

児童生徒が一人一台端末と高速ネットワークを活用し、クラウドを通じて教材・学習履歴・協働学習環境などを日常的に利用できるようにするための基盤

校務DX

クラウドで効率化

連絡・アンケート・情報共有をデジタル化し、教員が教育活動に集中できる環境を整える

ペーパーレスでスピード化

FAXや押印をなくし、電子決裁を導入を検討。業務を迅速に進める環境を整える

効率的で安全な管理

校務系と学習系の二重管理を解消し、効率的で安全な校務運営を実現する

学習過程の提示 中学3年生 社会科



7/9 8:05

7月9日(水) 私たちの生きる現代社会にはどのような課題があるのだろうか 3/

3

【少子高齢化の進行で、私たちの生活や社会はどのように変化してきているのだろうか】

個人評価

B: 人口ピラミッド等の統計資料を基に、少子高齢化の進行とその原因について理解することができる。

A: Bに加えて、少子高齢化に伴う課題、解決に向けた取り組みについて、「持続可能性」の観点から考察することができる。

S: Aに加えて、自分で小さな問い合わせ立てて、深めることができる。

①【ドリルパーク】(4分)

①【導入・課題把握:全体】(8分)

・写真を見て、時代の変化に伴う家族について考えよう

②【課題の確認・見通しをもつ】(2分)

- ・今日の流れの確認
- ・疑問や考えたいことを入力

https://gigaschooltoyokawaedjp-my.sharepoint.com/:x/g/personal/tj36gst32_gigaschooltoyokawaedjp_onmicrosoft_com/EWi5343VUaZOvWHcSA29IFYBPiMbEx6jsj2GmCUwdlfP5w?e=kObl6W

③【情報収集・整理分析:全体・個人・周り】(教科書P14~15、資料集P12~13)(約30分)

重要語句「少子高齢化」、「少子化」、「合計特殊出生率」、「平均寿命」、「高齢化」、「核家族世帯」

- ・少子高齢化について理解する(原因・日本の少子高齢化の特徴は?他国と比べてみよう。)
- ・少子高齢化によって生じる課題と解決方法を考えよう(教科書、資料集の事例を参考に)

NEW→<公民の学習で使えるとよいワザ(見方・考え方)>

- ・対立していることを、どのように合意に至るようにしているのか
- ・効率と公正(手続きの妥当性)

④【まとめ・振り返り:個人・周り】(10分)

- ・学習内容、学習の仕方(できるようになったことや考えたこと)をExcelシートへ入力する。

※授業内で書くならいつでも書いてよい。

【参考】

- ・進む少子高齢化https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310318_00000
- ・少子高齢化で日本はどうなる?
<https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?>

共同編集・相互参照

「ン 切り替え アニメーション スライドショー 校閲 表示 ヘルプ

コメント プрезентーション 編集

8班

人々を呼び込むため(持続可能な地域づくりのため)に…

- ・テレビや新聞、ネットで企画を報告する。→【その効果】人が試しに来るようになる。
- ・SNSをつかう→若者はネットをよく見るから
- ・家が古いから新しくする→崩れにくいなどの対策、虫嫌いでも来れる
- ・宿、ホテルを作る→泊まってみてどうかという意見がもらえる、改善点がもらえる

○地理的なこと(その地域の特色、自然と人とのつながり、他地域とのつながりなど)

- ・海上アスレチック、船に乗る体験→1回でも楽しい思いで作ったらまた来る人増える、こっちのほうが楽しいなどの人が来る
- ・山を整備してボルダリングなどを作る→泳げない人でも運動したりして遊べる

グループの仲間と同じスライドを見る。
共同編集をしながら考えを深める。

コメント

新規

8 ゲストユーザー

SNSを活用したりレジャー体験ができる
ようにして町の印象を変える取り組みが
いいと思ったけれど、昔ながらの景観が
崩れてしまわないか疑問に思いました。

8 ゲストユーザー

2班

返信

8 ゲストユーザー

ほかの県や市のこと参考にしていてわ
かりやすく、いろいろな層の人のことを
考えていてよいと思いました
by 7班

スライドを見合う。
クラスメイトから意見が届く。

共同編集・相互参照 ~振り返りシートをExcelで作成し、共有~

	2 課題の設定	P 4 2 - 4 3 資P 情報の収集	日本国憲法は、どのような考え方に基づいて作られているのでしょうか 整理・分析	自分の学びでよかったところは? 文字数	学ぶ前と後で変わったことは? 文字数
3	日本国憲法はどのような理由で作られ、人々の生活にどのように影響を与えているのだろうか	ぱっちり	ぱっちり 最初は天皇が主権で共和政だったけど、日本国憲法が出されることで、一人一人が尊重されて、国民が主役の政治になってきた。三権分立をすることでバランスが良くなり円滑に進める事が出来ていることが分かった。	98	最初は今と昔変わってないと思っていたけど大日本帝国憲法と日本国憲法を比べてみると天皇主権から国民主権に変わり政治の主役が国民になっていて変わっていることにさすいた。 82
4	日本国憲法はどのようにして作られたのか	わかった気がする	できた 友達に大日本帝国憲法と日本国憲法の違いはどのようなものか聞くことができたし、それが自分たちの生活とどうかかわっているのかを調べることができた。	71	大日本帝国憲法と日本国憲法の違いは天皇主権か國際主権で、天皇中心か国民中心かの違いだとわかった。自分の生活では日本国憲法だと選挙や人権によって政治をしたりバラリソニックなどのどこが行われていると思った。また、天皇主権から変わったて三権分立を採用したことにより戦争前よりも平和でみんなで作っている国になったと思った。自分勝手になって戦争になりにくくなったのはよいと思った 184
5	大日本帝国憲法と日本国憲法のちがい	わかった気がする	できた ・ネットで調べながら大日本帝国憲法と日本国憲法の違いを確認したこと。 ・友達に言葉の意味を教えてもらいながらノートにまとめたこと。	65	大日本帝国憲法と日本国憲法の違いは、主権だったり、軍隊について、義務、など違うところがほとんどだなと思いました。内閣総理大臣を任命するのは天皇というところは共通していると知りました。日本国憲法の方がひと手間多くて、国会で選出してからじゃないと天皇に任命してもらえないということが分かりました。前は天皇がすべてだったけれど、今は国民全体で国を作っていくとする姿勢があると思いました。 191